
日本ロシア文学会会報 第 44 号 2015 年 2 月

1. 2014 年度第 64 回総会報告 2. 11 月・12 月理事会関連事項 3. 会員異動
4. 新役員・委員 5. その他 6. 事務局からのアナウンス
-

1. 2014 年度第 64 回総会報告

第 64 回定例総会・研究発表会は、2014 年 11 月 1 日（土）、2 日（日）の両日、山形大学小白川キャンパスで開催されました。11 月 1 日（土）午後には開催された定例総会の主な内容は以下の通りです。

(1) 第 11 回日本ロシア文学会賞表彰

学会賞選考過程について説明があった後、本年度の学会賞を宮川絹代氏（著書部門）、澤直哉氏（論文部門）に決定したことが報告（浦委員長は資料文書を事務局が代読）され、宮川氏へ望月会長より賞状と賞金が贈呈された（留学中のため欠席した澤氏には、後日賞状と賞金が自宅へ送付された）。

(2) 議長団選出

関東支部より恩田義徳氏、関西支部より上原順一氏、中部支部より武田昭文氏が推薦され、拍手で承認された。

(3) 会務報告

事務局より会員異動（2013 年 10 月～2014 年 10 月）について報告があり承認された（「3. 会員異動」の項を参照）。

(4) 各種委員会報告

各委員長により今年度の活動の報告が行われた（以下は総会で承認された事項を記載）。

学会誌編集委員会 大平陽一委員長より、投稿審査要項の変更について説明があり、査読者の人数に関して会場から質疑があった後、承認された。また、日本ロシア文学会著作物取り扱いガイドラインの説明があり、承認された（別紙資料 1）。

日本ロシア文学会大賞選考委員会 佐藤昭裕委員長より、学会大賞に関する内規の修正についての提案があり、承認された。あわせて実施細則の制定についても報告があった（別紙資料 2-1、2-2）。

(5) 2013/2014 年度決算および会計監査報告

事務局より 2013/2014 年度決算案について資料に沿って説明があり、監事 2 名によって確認済みであることが報告され、拍手で承認された。

(6) 2014/2015 年度予算案について

事務局より 2014/2015 年度の予算案が資料に沿って説明され、拍手で承認された。

(7) 2015 年度第 65 回大会について

2015 年度第 65 回大会は埼玉大学で開催されることが事務局から報告された後、担当校の野中進氏より挨拶があった（なお、開催日は 11 月 7 日（土）、8 日（日）となった）。

(8) 新役員および新委員について

事務局より資料に沿って新役員および新委員（「4. 新役員・委員」の項を参照）が紹介された後、拍手で承認された。

(9) その他

- ・事務局より学会会則第 12 条の理事会構成メンバーの修正について報告があり、承認された（別紙資料 3）。
- ・三谷副会長より、木村彰一先生生誕百年記念シンポジウムについて、日本スラヴ学研究会と 2015 年の共同開催に向けて作業を進めていくことが報告された。
- ・大平学会誌編集委員長より、会員への次回学会誌への論文投稿の呼びかけがあった。

2. 11・12月理事会関連事項

11月理事会は11月1日（土）に山形大学小白川キャンパスで、12月理事会は12月20日（土）に早稲田大学戸山キャンパスで開催されました。主な報告事項および審議事項は以下の通りです。

11月理事会

■会員異動（入会2名、退会6名）——「3. 会員異動」の項を参照。

■2013/2014年度決算について

■2014/2015年度予算案について

■2015年度第65回大会について

■新委員の選出について——「4. 新役員・委員」の項を参照。

■投稿審査要項について

学会誌編集委員会の大平委員長より修正案が提示され、おもに第4項（査読に対する編集委員会のチェックの方法の明文化）、第10項（査読評価に大幅な差が生じた場合の編集委員会の取り扱い方法の明文化）についての説明があり、承認された。

12月理事会

■会員異動（ご逝去2名、退会2名、休会1名）——「3. 会員異動」の項を参照。

■2014年度第64回大会の総括と会計報告

三谷大会組織委員長より、第64回大会全体について総括があった。また、相沢大会実行委員長より、第64回大会の運営について総括があり、会計については大会準備金40万円のうち、学会へ16万6,512円を返納したことが報告された。また、懇親会を含めた大会出欠調査の方法について意見交換があった。今回の大会では、一般の方の参加が見受けられたことが特徴として報告された。

■2015年度第65回大会（埼玉大学）について

野中大会実行委員長より、開催日を2015年11月7日（土）・8日（日）とする旨の報告があった。

■第65回大会での「国際参加枠」について

国際交流委員会の野中委員長より、第65回全国大会における、学会員でない外国在住の研究者の発表について「国際参加枠」を設定する旨の提案があった。議論の結果、第65回大会については「国際参加枠」を試行し、来年度以降については引き続き検討していくこととなった。

■ICCEES 幕張大会に関連する提案 沼野理事より講演会の共催と市民を対象とした無料公開講座への企画協力が提案され、承認された。

3. 会員異動（敬称略：2013年10—2014年12月）

ご逝去：阿部軍治（関東）、西原周子（北海道） 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

入会〔氏名（支部：専攻分野／推薦者）〕：

平田真也（関西：ロシア語学／上原順一、林田理恵）、泊野竜一（関東：ドストエフスキー／源貴志、坂庭淳史）、竹内ナターシャ（関東：ロシア象徴主義文学、演劇／伊東一郎、貝澤哉）、林由貴（関東：19-20世紀のロシア文学、思想領域／村田真一、沼野充義）、三浦領哉（関東：ロシア文化史、ロシア音楽美学／伊東一郎、源貴志）、宮本友介（関西：行動計量学／林田理恵、横井幸子）、西原周子（北海道：言語学、歴史学／望月哲男、野町素己）、清沢紫織（関東：社会言語学、言語政策、ロシア語教育／臼山利信、加藤百合）、樋口稲子（関東：ロシア19世紀散文／伊東一郎、坂庭淳史）、光井明日香（関東：ロシア語学／匹田剛、前田和泉）、佐山豪太（関東：コーパ

ス言語学、語彙習得研究／匹田剛、堤正典)、テン・ヴェニアミン(関西：ロシア思想／岡本崇男、岡野要)、菊間史織(関西：音楽学／木村敦夫、梅津紀雄)、コルコ・マリア(中部：映画論／柳沢民雄、郡伸哉)

賛助会員：株式会社ナウカ出版

休会：2014年12月理事会で承認：ボリス・ラーニン(関東)

退会：横田智史(関東)、長谷川麻子(関東)、アニケエフ・セルゲイ(北海道)、梶重樹(関東)、ケキゼ・タチアナ(中部)、ラキムジャン・サディグル(北海道)、佐光伸一(北海道)、高島尚生(関西)、滝川・ガリーナ(関東)、野村孝夫(関西)、直野敦(関東)、原求作(関東)、加藤純子(関西)、山口恭子(関東)、清水昭雄(西日本)。2014年12月理事会で承認：宮本宗実(関西)、岡澤宏(関東)

4. 新役員・委員(敬称略)

事務局：鳥山祐介(千葉大学) 任期：2015年4月1日～2017年3月31日

学会誌編集委員(関東支部推薦)の交替：鳥山祐介⇒鴻野わか菜 任期：2015年度大会まで

2015年度大会組織委員会：諫早勇一(委員長)、古賀義顕、澤田和彦、竹内恵子、野中進

2015年度大会実行委員会：野中進(委員長)、梅津紀雄、小椋彩、澤田和彦、鳥山祐介

(任期は2015年度大会組織委員会、大会実行委員会ともに2015年度大会まで)

5. その他

○日本ロシア文学会大賞受賞記念講演 第1回日本ロシア文学会大賞に井桁貞義氏が選出され、11月1日(土)午後に山形大学にて、スカイプを使用した日本ロシア文学会大賞記念講演「世界を目指した日本のロシア文学研究—研究者の喜びと使命について—」が行われました。なお、第2回日本ロシア文学会大賞については、2月28日まで推薦を受け付けております(詳細は学会HPをご覧ください)。

6. 事務局からのアナウンス

○2014/2015年度分の学会費をまだ納入されていない方々には振替用紙を同封いたしました。学会はみなさまの会費によって支えられていますので、納入いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

○2015年度の大会は11月7日(土)、8日(日)に埼玉大学で開催されます。

○会員名簿のデータの訂正のお願いとお詫び 昨年秋に発送いたしました会員名簿ですが、杉野由紀氏のデータが間違っておりました。以下が正しいデータとなります。ご訂正をお願いし、あわせてお詫び申し上げます。

|| 杉野 由紀 || すぎの ゆき || 359-0042 || 埼玉県 所沢市 並木 3-1 11-612 || 04-2993-8286
|| snedjinka@kna.biglobe.ne.jp || ディラ国際語学アカデミー || 関東 ||

○2015年4月より学会の事務局は下記に移転いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学文学部 鳥山祐介研究室気付 Tel/Fax : 043-290-3762 E-mail: yaar@yaar.jpn.org

日本ロシア文学会会報 第44号 (2015年2月15日発行)
発行人 望月 哲男 編集人 日本ロシア文学会事務局
〒162-8644 新宿区戸山 1-24-1
早稲田大学文学学術院 坂庭淳史研究室内
電話 : 03-5286-0581
E-MAIL: sakaniwa@y.waseda.jp